

「育ちと学びをつなぐ」  
幼保小連携・接続版④

# 遊 び 学 び 育 つ ひ ろ し ま っ 子 !

今年度もあと1か月余りとなりました。今年度は新型コロナウイルス感染の影響により、いつもとは違う生活を考える日々となりました。小学校では、子供たちが「主体的に自己を発揮する」ためのスタートカリキュラムの準備を始められると思います。第10号のテーマは、「はじめよう！スタートカリキュラム」です。園・所の先生方とも相談して、スタートカリキュラムの充実につなげてください。

## POINT 01 安心できる環境で成長を支えましょう

初めての先生、友達、校舎。戸惑いや不安を感じる子供も少なくありません。安心して自己を発揮できる環境（人・もの・こと）をつくっていきましょう。

- CHECK!**
- 全職員が1年生に関わっていますか？
  - 人間関係が豊かに広がる活動等を大切にしていますか？
  - 見通しのもてる環境となっていますか？



先生や友達との信頼関係が基盤



子供たちが  
主体的に自己を発揮できるように

## POINT 02 自ら考えられる環境で自立を目指しましょう

子供たちは園・所で様々な経験をしています。また、自分たちでやってみたい、と意欲をもって入学してきます。「自分でできた」、「考えた」という自信を子供たちの成長、自立につなげましょう。

自分の場所や靴の入れ方が分かるような掲示



- CHECK!**
- 靴箱から教室、トイレ等への動線を考えていますか？
  - 子供の目の高さでの掲示をしていますか？
  - 自分たちでできることまでしてあげていませんか？

## POINT 03 幼児期に育まれた資質・能力を生かし、育ちと学びをつなぎましょう

子供たちは、遊びや生活を通して、たくさん学んでいます。まずは、それらを理解することから始めましょう。「園・所ではどうだった？」と聞くことで、子供たちは、園・所での経験とつなげて考えることができます。子供たちの意識の流れに配慮したつながりのある学習活動を進めましょう。

- CHECK!**
- 園・所での学びを理解していますか？
  - 学びのきっかけ（例：子供の絵や文、学びの足跡の掲示）をつくっていますか？
  - 思いや願いを生かした学習活動を構成していますか？



子供の絵や文、学びの足跡の掲示

## メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子大学 朝倉 淳 教授

年度末が近づいてきました。園児も児童も、不自由な暮らしの中で、手洗いを続け、会話を控え、行事を我慢して過ごしてきました。できることを考え、粘り強く実行し、成長してきました。そのような姿を温かく受けとめ、励ましたいところです。残念ながら、新しい年度のスタートを見通すことはできず、不安や心配は消えません。だからこそ、それぞれが自分の経験や力を生かして支え合い、「安心」を創造したいものです。「スタートカリキュラム」の考え方は、新一年生だけでなく、すべての人に関係することです。園や学校の全体、社会全体で取り組む必要があります。今は一年間のまとめの時期であり、次に向けての希望や期待の時期でもあります。例年のような展開はできないものの、子供たちの気持ちに柔らかく寄り添いたいものです。「柔らかさ」は、従前の考え方ややり方にとらわれることなく「本質」を大切にするものです。

新入学や新学年を  
迎える子供たち

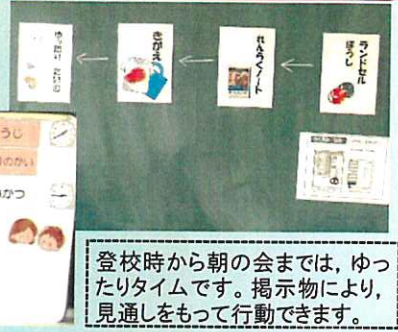


朝倉先生には4回にわたり、メッセージをいただきました。ありがとうございました。

## 実態に応じたスタートカリキュラムを実践しましょう！

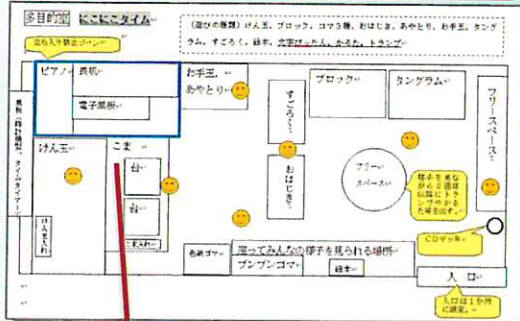
今年度実施された令和元年度幼児教育長期派遣研修生の所属校におけるスタートカリキュラムの実際を一部紹介します。

### 自分で考えて動けるようにする 三次市立八次小学校

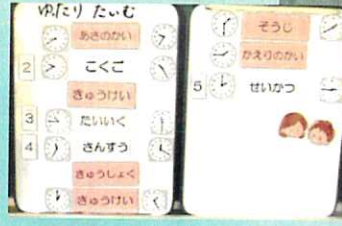


登校時から朝の会までは、ゆったりタイムです。掲示物により、見通しをもって行動できます。

### 朝のここにごタイム(自由遊び)の環境を整える 廿日市市立廿日市小学校



環境を考える際、園・所の先生にアドバイスをいただきました。また、園・所で行っていた遊びを聞いて、こまやタンگرام、けん玉などのコーナーを作りました。



### 多くの人の関わりを大切にする 府中市立旭小学校



保育参観からヒントを得て、全校縦割り班で掃除をしています。地域の方や6年生に見守られながらのスタートです。

多数の御参加  
ありがとうございました！

## 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続フォーラムを実施しました

令和3年1月18日(月)、オンラインでフォーラムを実施しました。  
 國學院大學 田村 学教授に「学びに向かう子供の育成」と題して講演していただいた後、安田女子大学 朝倉 淳教授のコーディネートで、県内4名の先生方(幼稚園長、小学校長、小学校教諭、行政)に連携・接続に関する御意見をいただくパネルディスカッションを行いました。  
 全県で、連携・接続の趣旨を大切にしたい取組が広がるよう、今後とも取組を推進していきます。



- 【受講者の声】
- 教師中心の授業でなく、子供自らが学ぶという発想の転換が必要だと思った。
  - 幼児期の育ちが小学校でどのようにつながっていくのか認識できた。
  - 小学校の先生と一緒に視聴した。コロナ禍だが、日常的に連携したい。

### 市町の取組を紹介！

## 安芸高田市幼保小連携研修会

令和3年1月19日(火)、安芸高田市立美土里小学校で、今年度初めて園・所と小学校合同の研修会が開催されました。園・所と小学校の先生が1年生の授業(「もうすぐ2年生 ～新しい1年生を招待しよう～」)を参観し、授業について協議したり、接続カリキュラムについて協議したりと有意義な研修会となりました。

誰か分からないかもしれないから、自己紹介があるね。



1年生の授業を観て、安心した環境の中での学びが大切だと改めて実感した。子供同士が意見を出し合い、認め合い、意欲をもって活動する姿を見て、園でもその基礎となる部分を育てていきたいと思った。(幼稚園教諭の感想)

【発行元及び連絡先】 広島県教育委員会乳幼児教育支援センター  
 〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局(東館6階)  
 TEL (082)513-4978 FAX (082)212-3331  
 広島県教育委員会乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

